

8/13
朝日

原発再稼働 子どもの視点で

大学講師

(鹿児島県 33)

川内^{鹿児島}原発(鹿児島県)が再稼働し、県内に住む私を含め、多くの住民の不安が高まっている。子どもの福祉を教えている私は、原発は子どものためにならないのではないかと考えている。

川内原発の近くには保育所や児童福祉施設もある。だが、再稼働の問題が持ち上がって以降、避難訓練は行われていない。事故があった時、子どもなど弱い立場の人が安全に避難できるのか心配だ。菅直人元首相が、現地であった抗議活動で、福島第一原発事故の際、避難中に亡くなる人が相次い

たと述べた。原発事故では避難の際に混乱が続くことは明らかだ。

国連で採択された「子どもの権利条約」は、その柱として「生きる」「守られる」「育つ」「参加する」の四つの権利をうたう。原発事故で子どもが命を奪われないか、優先して保護してもらえるか、地元の友達と教育を受けたり、外で遊んだりできるのか。原発は、子どもの権利を根底からくつがえしかねない。

原発ゼロでも電力会社の業績は回復傾向という。再稼働を進めた大人たちは一度立ち止まり、「子どもならどう思うか」という視점에立って、再考すべきだ。